

アラビヤ・ペルシア・バベリオ

宮下禮造神人

宣教司牧のあゆみ



無原罪の聖マリア

あなたによりなすむ

わだちたちのために

お祈りください



1939年3月21日

シャンボン大司教様により

山手教会で叙階

故フランススコ・ザベリオ宮下禮造神父を偲んで

横浜教区司教 濱尾 文郎

昨年四月二十二日帰天されて早一年たちました。ここ十年間は、聖テレジアにおられ
り、神山に住まれた間、毎年クリスマスとご復活祭の近くに、お訪ねしておりました。毎
大変楽しみにして下さっており、こちらが慰められたような気持ちで、元氣にお暇した程
でした。昨年、具合が悪くなられたのは、四月五日聖金曜日に神山でお会いし、九十一才
のお祝いをした直後でした。

私と神父様との出会いは、一九八〇年、私が横浜教区長に赴任した時からのことです。
神父様は、当時中和田教会の主任司祭で、また横浜教区の総代理もして下さっておりまし
た。でも、何と言っても忘れられない思いでは、一九八〇年の春、今はもう帰天されてし
まった谷口神父様と三人でローマに巡礼に赴いたことでした。五月、日本の司教団全員が
アド・リミナの訪問でローマを訪れた時に、宮下、谷口両師と共に、ローマに赴き、教皇
ヨハネ・パウロ二世との謁見に参加出来たことは生涯忘れることの出来ない慶事でした。
私にとっては、長年教区のために尽力して下さった老司祭に教皇のねぎらいを頂きたかつ
たからでした。ローマの後、アシジ、パリ、リジュ、とリオンも訪問しました。本当に
お兄さん孝行をさせて頂いた感じです。樺にも造詣深く、僧侶のような風貌でもあり、日
本人のカトリック司祭としても、何か悟りの境地に達した感を与える方でした。若造の司
教である私にも、礼儀を尽くされ、後輩を温かく見守って下さっておりました。

今も、これからも私たちを温かく見守って下さると思います。



1980年5月

濱尾司教様とヴァチカンへ

教皇様に謁見

その労をねぎらわれる

初の教区司祭、卒寿

フランシスコザベリオ 宮下禮造師

一九〇五年四月十一日生まれ
一九三九年三月二十一日叙階

神山復生病院内の家に住み、富士山を眺めながら毎日、散歩をしておられる神父様は、日焼けしてお元気でした。

Q キリスト教との出会いは
A 埼玉県で十一人兄弟の真ん中に生まれました。小三の時、叔父からもらった聖書を読んでから片道三時間もかけてメソジスト教会に通い始めたのです。しかし悪人が地獄に堕ちると思っていたので、キリストが悪人も救うために死んだ後、天国に行ったということが、どうしても納得いかなかったのです。

Q それでは洗礼はいつですか
A 十九歳で東京に出て来た時、カトリック信者だった叔父の影響もあって、カンドウ師が始めた神学校の入学を希望したのです。ところが、まず洗礼を受けなさいと言われ、築地教会で要理を勉強して受洗しました。

Q 叙階は三十歳ですね。

A ちょうど東京教区から分かれて、横浜教区が設立された時です。シャンボン司教の勧めで、横浜教区邦人司祭の第一号となりました。横須賀を皮切りにいろいろな教会を歴任し、一九六二年ころから司教総代理を仰せつかりました。Q 座禪をなさるとか。
A 実は足をちゃんと組めない

のだけれど、ラサール師の指導を受けました。無念無想になると愛徳が自然に湧き上がってくる。これは非常に不思議なことです。

☆神父様からのご挨拶

多くの方から卒寿をお祝い頂き、誠にありがとうございます。頂きました。時の経つのは、本当に早いものでした。これまでに皆様から頂いた数々の恵みに、皆様からの支え、導きを改めて思いおこす時、感謝の気持ちで一杯です。毎月十六日に感謝のミサを捧げ、皆様の上に神様の豊かな祝福をお祈り申しあげます。

東京都選定歴史的建造物

カトリック築地教会聖堂

所在地 中央区明石町5-26
設計者 ジョジョアス神父、石川晋次郎
建築年 昭和2年(1927)

築地一帯は、明治初期に外国人居留地に指定された。築地教会は、明治7年(1874)に、パリ外国宣教会が居留地35番・36番を政府より借り受け、聖ミカエラを守護聖人として設立したものである。明治11年(1878)から大正9年(1920)まで司教座がおかれた教会で、東京で最も古い教会の一つでもある。

明治11年(1878)に献堂された旧聖堂は、ゴシック式赤レンガ造りであったが、大正12年(1923)に関東大震災で焼失。昭和2年(1927)に、本堂と聖堂の現聖堂が献堂された。現聖堂は、当時の東京大司教であるレイム卿の希望によりギリシア建築パルテノン型が採用され、前面には大理石オーダーが立ち並び、明石町一帯は聖堂をまわすため、教会は噴水に囲われ、静かな聖堂に包まれている。

東京都生活文化局
平成5年3月



宮下神父様の宣教・司牧の年代

1930年5月18日 東京築地教会で受洗

1939年3月21日

シャンボン大司教より山手教会で司祭に叙階

山手教会助任・兼横須賀教会 主任

1941年5月 鎌倉大町教会

1941年7月 浜松教会 主任

1945年11月 上田教会 主任

1947年8月 片瀬教会 主任

1949年5月 末吉町教会 主任

1960年10月 横須賀三笠教会 主任

1962年6月～1982年12月 司教総代理

1962年10月～1963年3月 カトリック学連総指導司祭

1970年 静岡八幡教会 主任

1975年 中和田教会 主任

1983年3月 78才で教会を引退

1983年3月23日

聖テレジア病院付司祭

1994年7月 七里ヶ浜修道院内

1994年10月 神山復生病院内

1996年4月22日 帰天

“神の国を告げ知らせる尊い務めを終えられ

みもとに召された神父様 栄光の

輝きのうちに憩う事が出来ます様に”

故、フランスコザベリオ 宮下禮造神々様、一周忌が、早や訪ね様として居ります。

神々様を偲ぶよすかと、思い下さ、思ひ出すも、筆をとりました。

神々様は、明治38年4月11日生れです。60代、70代迄、お住えられた事です。

それより、代で云える事は、身がよいでいられでいた。御屋の、ホマートもふん

にいらせて、おがけもよくなりました。又、靈的には、御自分にもきい、く、時間になさ

聖務日禱で常に祈って居りました。晩年は、多分、おがけもつばい、ロザリオの祈

りだいでいた。

朝、7時のミサと、その日の意向に併せて、横浜教区、司教、司祭のたみ、きりんと

献げてました。午五時には、10、11時迄、レジオの賛助会員の祈りと、聖書と読まれて

ます。神々様は、昔レジオ・マリエ 横浜教区、指導司祭でいた。

午後は、お天気の日は、散歩さし、神々様の、指定席のちる、富士山の見える

場所ではサリオとくつてました。毎日見ても富士山はいいねとききそう申される言葉
でした。夜は、9時〜10時には寝てました。看護婦の終るころありのさう。お休みなら
と、にっこり笑う顔が今でも思い出されます。

神山で91年平は、空気に水がはいいいで、お茶が大好きな神々様は、
満足の様でいて、皆さんに神々様は、100才迄、大丈夫ですと云われる程、
血色もよく、食事もうまうてました。あと4年、でダイヤモニト可敬叙階60年
でした。

91才の誕生日も、パリミツシヨウの御三人の神々様にお祝いし。

今は亡き、ブニオン神々様にも、フランスに電話をかけ、皆さんでお目出さうと語り
合いました。その10日後、神々様の旅立ちの日になるとは、――

この世には、すべてに時があり

それ〱に時期がある

（伝道者）

教会宣教司牧の長い道であり、永年神々様に御厚情と
お寄せ下さる居る方であられた御存知の方の居るをばと思ひ
上手紙と申します。

皆之、そよ／＼に神々様と愧ばしめて、お返事と下ります。

神々様の歴仕より教会の方達の時を思い出さるゝ……

その上手紙を招きさせて頂くつもりで、皆様に頂きまして、お返事をいたします。

一九九七年 四月

マリア・イザベラ

佐藤和子

前文省略

私は、心から神様に感謝をして参りました。

宮下神又様の神に召された同じ日、私が代母であり、私が母方のいこにあたる江馬伊佐之がオガセになりました。この方々で宮下神又様はお泊りになった事もあり、又、ごミサや要理に伺った事もあります。江馬之は、時期的に、宮下神又様の浜松の主任でいらした時、婦人会で熱心にお助けの方ですと、ハルミナキ神又様の葬儀ミサの時、説教されました。

私は、戦時中、宮下神又様より、要理の勉強もしていただいた看で、最初から聖書と、誡むようにすすめるから、その当時教会内にはあまり存じません。色々の質問にわづりやすく説明して下さり、その後、教会のその後の公会議をへて、教会の变化にも素直に理解出来た様に思います。(回顧的でも、進歩的でもなく、現実的に真実的に)

以上、理由で神又様の葬儀ミサにかかえて参りました。

浜松教会では、度々日曜ミサの時、全員で祈りを祈りました。その時、心を併せて祈り、
宮下神又様、イエス様、マリア様と共に、私達を見守ってくださいませ。(以下省略)

浜松市広沢一丁目三十五

金原 孝

邦人司教司祭 300 名
信者 113,160 名^(註9)

日本天主教団の設立に関して、文部省は公教要理の改訂を要求してきた。特に問題となったのは、ローマ教皇の支配権についてであった。それは、国内の宗教団体が外国人の支配下にあることを政府が嫌ったためである。結果としては、マレラ教皇使節の提案による「公教会とは、ローマ法王を中心として、一つの秘蹟に結ばれる信者の集まりである」と云う説明で解決した。また、教団規則の作製の段階でも同様の問題が出た。この時は、田口芳五郎 大阪司教（教団総務）の「ローマ法王の問題は、わたしたちの信仰箇条にふくまれることですから、絶対に切り離すことはできません。もしこの点で、カトリック教会が教団の認可を得られないならやむをえません。また、この信仰が国家の政策に反するとして禁止されるなら、徳川時代のような事態を引き起こすかも知れません。今日といえども、信仰のためには生命を犠牲にすることを恐れない人びとがたくさんおります」と云う発言でけりがついたと云われる。^(註10)

こうした情勢のなかで、1941（昭和16）年、各教区の教区長の邦人化が完了し、時局に対応すべく組織の充実が図られていく。

1941（昭和16）年12月8日、我が国はアメリカに宣戦を布告し、最悪の事態となる。これを契機に、国内の敵国宣教師、修道者の拘留が始まる。浜松教会では、このためビリング師が去り、宮下礼造^(註11)師が着任する。

政府は、1942（昭和17）年3月、キリスト教連合会（カトリックと日本基督教団との連絡会議）^(註12)に対して、次のような外人宣教師の取扱方法を指示する。



宮下礼造師（叙階記念）

「宣教師取扱方

- ①天主教とプロテスタントとは夫々事情を異にするを以て可能なる範囲に於て、各別に生活せしめ、同一家屋内住居の場合は、其の居室を別にするものとす。
- ②プロテスタントは東北地方仙台、関東地方東京、関西地方大阪以上3カ所に集合生活せしめ移転先、又、特殊の場合は考慮するものとす。
- ③天主教は別に夫々修道院内に生活せしめるものとす。
- ④宣教師の生活調査は補導委員之に当り、抑留中のものは、抑留所の当局に調査を依頼するものとす。

対欧米関係の悪化と共に、教会は財政の自立を図らなければならなくなった。従来、教会の財政は宣教会に負うところが大きかったため、その影響は大きかった。横浜教区内では、こう云った状況に対処するため、「凱旋会」と呼ばれる教区財政を助ける自発的な信徒の組織結成の動きが生じている。カトリック新聞に「凱旋会、誕生近し」と云う見出しで紹介記事がある。^(註13)

「横浜教区のうち横浜市を中心にして、神奈川、静岡両県下の信徒有志間に、教区の経済的独立を援助するために此の程から《凱旋会》創立の計画が進められている。従来の教区の経済

は主として欧米等の外国信徒の浄財によって維持され、又、之が教会活動の原動力となっていたものだが、今後は独立自営の新体制を是非とも確立しなければならぬので、教会当局の愚意を待つまでもなく、平信徒たちが進んで所属する自教区を祈禱と共に物質的にも応援し、聖職者の聖業の資にしなければならぬとの自覚の下に左の如き申合せ案を作成して之を実行、やがては長野、山梨の両県にも進出して、教区内全信徒のものにまで発展させることを期して着々準備を進めているが、その成果には多大の注目が向けられている」(申合せ案は省略する)。

凱旋会のその後の動きも、浜松教会の信徒がどの程度これに参画したかもはっきりしない。

前述のように、浜松教会に宮下師が常駐するが(短期間、日野師が代理となる)、邦人司祭であっても、時局は布教を困難なものにし、師の努力にも拘らず大きな成果を得ることは出来なかった。それどころか、軍国主義の下で苦しむ信徒の信仰生活を守るのに精一杯であった。宮下師の在任中、2度同師の代理として日野久義師が来浜する。最初は、宮下師の病氣療養中、2度目は、宮下師が小田原教会と兼務(マトン師が病氣となったため)の期間中であつた。日野師が、2度目の浜松滞在の時憲兵隊に拘留され銃殺寸前までいったことを知る人は少ない。拘留された原因が日野師自身にあった



日野久義師

ことではないので、同師はその詳細を語ろうとはしない。同師は現在、横浜でカトリック研究所を主宰している。とにかく、司祭だけでなく、有力信徒にも特高(特別高等警察)や憲兵が尾行監視していたのであるから、細心の注意をもって生活しなければならなかった。しかし、一方では軍部は、占領地域のキリスト教徒宣撫のため教会に聖職者の派遣を要請して来ているのである。こうした悪条件下で、宮下師は掛川教会の建設を図るが、時局はそれを許さなかった。戦争中の明るいニュースとして、1942(昭和17)年、パチカン市国へ原田健公使が派遣されたことをあげることが出来る。

段々と戦況が不利になると、浜松も米空軍の空襲を受けるようになる。そのため、ルルドの洞窟は防空壕となり、聖堂の裏の崖にも防空壕が掘られた。

1945(昭和20)年6月18日午前0時10分、米空軍の大空襲があり、浜松市は灰尽に帰してしまふ。浜松教会もすべての建造物を焼失する。^(註14)宮下師が持ち出し得たものは、洗礼台帳と信者名簿だけであつた。同師は、聖堂裏の防空壕入口で顔や腕に火傷を負って、大井川上流徳山の森岡医院に入院することになる。そして、12月には上田教会へ転任する。この時、たまたま神学生であつた松村蒼和師が宿泊しており、大変な目にあつてしまった。

1945(昭和20)年8月15日(聖母マリアの被昇天の大祝日)、我が国はポツダム宣言を受諾して、長いそして苦しい戦争は終了する。

この間、1943(昭和18)年11月、横浜教区長が井手口師から、戸田帯刀師(前札幌教区長)^(註15)に代わる。この交代は、井手口師が、軍部の要請でホンコンへ宣撫に赴いたためであるが、同師は、目的地を目の前にして、乗船が機雷に触れ船と運命を共にした。この戦争によって、全国で76教会が、横浜教区では6教会が焼失した。

十ニまよ。生涯とあなになに捧げた。

故フラスミスサベリオ宮下禮造神文様と

み心に留めて下さい。

あなを永光を永遠にたええることができ

ますように。

神文様の市命日のお知らせと、し子と奥及び市絵と

有り難く拝受致しました。有り難うございました。

九上オにようまいました。と、しつかりはつきり

お電話下さった宮下神文様が、突然旅立ちられ

散まると、悲しみは一入大きくこみあげました。

上の教会では終戦直後、大変な時代、神文様に

於れまいしも、まだ戦災の火傷の癒え尽くされ

ない間に、庄司おの武君と連れて、市赴任下さい。

ました。その頃、お世話になりました。私共にも、

まいとは、忘れることのできない大恩人、神文様、

ありがとうございました。

この月に毎月神文庫の感謝のミサとお捧げ下さり
お電話も下さりありがとうございました。本堂に有り難く存じ
おります。上の教会には当時の信者も少くなく
ありましたが、四月三日に帰天を知らされて、森田神文庫
と数日間ミサをお祈り申上げました。(以下省略)

上田市常田ニート

ファミリー常田 四〇一

寺島 老代

このたびは、尊敬申し上げております宮下禮造神父様の御記念の
カード、お写真と。和子さまの御手紙と共に、お送りいただきまして、本当に
ありがとうございます。

御立派な神父様でいらっしゃるね。

「神よ、あなたは若い時からわたしを導いて下さった。わたしは今も

あなたの不思議なわざを告げ知らせる。」 全くこの通りでしたね。

御帰天の三か月前の御写真、毅然としていらっしゃる。誠に

神父様らしいと感動しております。御手紙に「突然旅立たれた」

とお書き下さいましたか。常々、御立派に旅仕度がおできでいうっ

しやいましたことと信じます。これから、もっと近く霊的娘たちのために

また、全教会のために お働き続けて下さいますことと信じ、心強くございます。

私は、神父様から洗礼を授けられた者ではなく、片瀬時代に二、三年の短い期間 お世話になりお世話ただけでございますが、長々とはい比例に、生涯を通して、本当に深い印象、濃厚な霊的宝を神父様からいただいた。真実な感謝と喜びのうちに、神父様は私の心の中で生き続けていて下さいます。

神父様、ほんとうにありがとうございます。神父様を通して

神はほめたたえられますように！

和子さま、ありがとうございます。感謝と姉妹愛をこめて

主の手安！

本日は政宮下神父様の御会と

お知らせをいふ心さま！と云ふことと云ふかとう

召ります。

和暦昭和二十五年四月の初三午向

初めて種法本寺の町野合の御経園におつとわし
創主さまの御方の園を何かわかりず今業々



(1)

ほのりの初とわし人の心をか國長

宮下神父様の御経園のものと云ふ御まあり

また時のふと云ふ初と初めとあはれ

初めと、いふと、初めと初めと、初めと、同いふ

やういふがう、人間は一まけんあいふと云ふ

やういふ、そんな失敗は、ほんたうに、いかに

失敗しう、初めを、初めを、初めを、初めを、

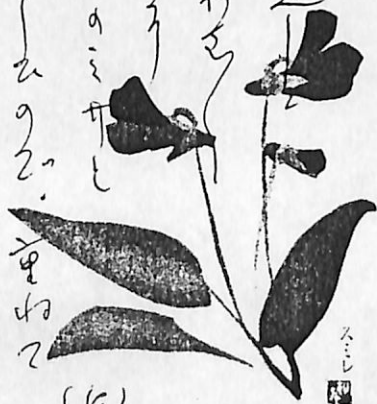


(2)

[illegible]

(3)

いんやうとて、お手紙を拜見し
よくわかりました。ほつとにわさ
お知るより、ききまのこゝろはさう
なによりも、幸ひ、御調骨のいたし
納骨式にはあつたこと、四つ方まで
此へからうらなひも、平安とあらう
いとこゝろ、お礼です。



(4)

2537-7-1

杆
线
子

主の平安

先日は如下室なるお便りと頂き有難うございました。
宮下神文様には大変お世話様になり、有難く
なうみしく、嬉しいお人柄でございました。
天国で至らぬ私共のためにお祈りし下さって
おられる事を知りてお喜びよう。

これから宮下神文様のお教えを守り

お祈りを続けさせていただきます

良いお家直人さんといいたく、何時までも良い想
出になります。

聖母マリア様と大切（信心）になさる事を私共は
すゝめ下さる神々様におごいまいた。

信濃教会の時代にお慕ひ神々様 三信教会
の田熟なされた神々様 永くにお頼しく
お敬慕すをいたいき感謝申とやるばかりです

これからもお祈り下さる事をにおごいまいよう

本心に永く事有難うございまいた。 草々々

横須賀市日のお三十八番三三

堀

とハ郎
千代子

前文省略

神父様は、私にロザリオの大切さを教えて下さり、今も私は毎日ロザリオを唱えてから、夜ふりにしています。

結婚式、ミサの時もお世話になりました。レジオで霊的指導を願う時、私の求道者と神父様に紹介すると、「公教要理」は、君のやりなさいと云われ、霊的勉強も一通りなさい。私の信仰生活の礎（いしづえ）となつていきます。

今から考えますと、八幡教会時代、司祭にならなかつたら、朝ミサに出ていた事もありました。司祭にならなかつたら、宮下神父様と

見ていたのだと思ひます。

(以下省略)

知田市 長瀬三六四

田中 英昭



中和田教会 1978年クリスマス





中和田教会





1996年4月11日 91才誕生日.

神よあなたには.

希. 時からわたしと.

導いて下さった.

わたしは今もあなたの

不思議なわざを

告げ知らせる.

(詩編七十七)